

## 河川環境 Web 河川管理者公開システムのアカウントの考え方(案)

### 1. 「河川環境 Web 河川管理者公開システム(河川管理者等向けシステム)」の種類とアカウント

#### <令和 7 年度>

- ✓ 令和 7 年度 10 月 10 日に、「河川環境 Web 河川管理者公開システム（河川管理者等向けシステム）（令和 7 年度版河川管理者等向けシステム）」を公開。
- ✓ このシステムは、平成 28 年版の水国調査マニュアルに基づく、「河川水辺の国勢調査の入出力システム（令和 7 年度版システム（平成 28 年マニュアル対応）」）に対応している。
- ✓ 「令和 7 年度版河川管理者等向けシステム」は、令和 9 年 3 月までの運用を予定（検討中：調査翌年度中の提出が必須であることから「令和 8 年度中」とする）。
- ✓ 「令和 7 年度版河川管理者等向けシステム」を利用するためのアカウントを発行。

#### <令和8年度以降>

- ✓ 令和 8 年度以降は、「河川環境 Web 河川管理者公開システム（河川管理者等向けシステム）（令和 8 年度版河川管理者等向けシステム）」を公開予定。
- ✓ このシステムは、令和 8 年度版の水国調査マニュアルに基づく、「河川水辺の国勢調査の入出力システム（令和 8 年度版システム（令和 8 年マニュアル対応）」）に対応している。
- ✓ 令和 8 年度からの新たなマニュアルに基づく「河川水辺の国勢調査の入出力システム（令和 8 年度版システム（新マニュアル対応）」）を公開予定。
- ✓ 「令和 8 年度版河川管理者等向けシステム」は、令和 8 年 4 月以降の運用開始を予定（検討中）。
- ✓ 「令和 8 年度版河川管理者等向けシステム」を利用するためのアカウントを新たに発行を予定。

#### <留意点>

- ✓ 業務受注者用の「河川水辺の国勢調査の入出力システム」が令和 7 年度版と令和 8 年度版で異なるため、「河川環境 Web 河川管理者公開システム」も令和 7 年度版と令和 8 年度版では別アカウントとなる予定である。

## 河川環境 Web 河川管理者公開システムのアカウントの考え方(案)

### 用語の説明と役割

#### (アカウント)

- 本システムを利用するために必要となる権利及び認証情報のこと。アカウントは(A:ログイン ID)と(B:メールアドレス)によって管理され、システム利用開始前に、システム管理者へ申請を行い取得する。
- 本システムは、(A:ログイン ID)と(B:メールアドレス)、(C:ログインコード)を用いて利用する。
- 本システムでは、河川管理者等用に 4 種類ある。

#### (A:ログイン ID)

- ID は Identifier の略で、利用者を識別する情報のこと。単に ID ともいい、本システムでは、システムが自動的に発行した文字列のこと。
- 本システムでは、(A:ログイン ID)に応じて、4種類のアカウントのいずれであるかを自動で識別した上で、それぞれの権限でシステムにログインする。

#### (B:メールアドレス)

- 本システムへログインするために必要となる情報で、アカウントの申請時に指定する。(A:ログイン ID)と(B:メールアドレス)を用いてログインを行う。
- (A:ログイン ID)に対して登録できるのは一つの(B:メールアドレス)のみ。人事異動等で、別の(B:メールアドレス)が登録された場合は、最初の(B:メールアドレス)は使用できなくなる。
- メールアドレス宛に、後述の(C:ログインコード)(ワンタイムパスワード)が送信される。

#### (C:ログインコード)

- 本システムにログインする際(利用する際)に、システムから発行されるランダムな文字列のことであり、一時的に発行されるパスワード(ワンタイムパスワード)である。
- (C:ログインコード)は送信から一定時間が経過すると無効となり、再度(A:ログイン ID)と(B:メールアドレス)を入力して、(C:ログインコード)を再送信する必要がある。

# 河川環境 Web 河川管理者公開システムのアカウントの考え方(案)

## 1.1 アカウントの種類

(河川管理者等向け 操作説明会資料 資料3 p4 ページと関連)

- ✓ アカウントは、河川管理者等向けとして a～d の 4 種類が存在する。
- ✓ 河川管理者等向けの各アカウントは、事務所や整備局、本省等で異なる権限を有する。

		アカウント種類	発行対象	機能
河川 管理 者 等 向 け	a	事務所(河川水辺の 国勢調査の発注担当 機関)アカウント権限	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川水辺の国勢調査業務の発注機関(北海道開発局各開発建設部・河川・ダム事務所、各地方整備局各河川・ダム事務所、沖縄総合事務局各ダム事務所、各都道府県土木事務所(河川環境担当課)、各都道府県ダム事務所、水資源機構管理事務所(ダム環境担当課))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務受注者用の入出力システム用アカウントの発行機能</li> <li>業務受注者の入力状況の進捗確認機能</li> <li>業務受注者の提出した調査結果の確認・差し戻し・承認機能</li> <li>【R8 年度以降】自事務所の河川水辺の国勢調査データの検索、DL 機能(重要種含む)</li> </ul>
	b	地方整備局等(北海道開発局、沖縄総合事務局、水資源機構、都道府県も含む)アカウント権限	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道開発局(河川環境担当課)、各地方整備局(河川環境担当課)、沖縄総合事務局河川課、都道府県(河川環境担当課)、水資源機構本社、および各支社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管轄の発注担当機関の調査進捗状況の確認機能</li> <li>【R8 年度以降】管轄の河川水辺の国勢調査データの検索、DL 機能(重要種含む)</li> </ul>
	c	国土交通本省アカウント権限	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方整備局等の調査進捗状況の確認機能</li> <li>【R8 年度以降】全国の河川水辺の国勢調査データの検索、DL 機能(重要種含む)</li> </ul>
	d	システム管理者用アカウント権限	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム管理やデータベース更新等を行う業務の受注者(総括検討業務の受注者を想定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a)b)c)の機能及び、システム管理、データベース更新等の機能</li> </ul>

# 河川環境 Web 河川管理者公開システムのアカウントの考え方(案)

## 1.2 アカウントの発行対象と発行数

(河川管理者等向け 操作説明会資料 資料3 p4 ページと関連)

- ✓ 河川管理者等向けのアカウントは、ログイン ID に紐付き発行され、アカウントの申請時に個人メールアドレスまたはグループアドレスを登録する。
- ✓ グループアドレスを登録した場合は、グループアドレスに含まれる複数の担当者が事務所等の水国業務の管理を行うことができる。
- ✓ このことは、b)やc) のアカウントも同じことが言える。
- ✓ a)事務所（河川水辺の国勢調査の発注担当機関）アカウントを用いて、「河川管理者 Web 河川管理者公開システム」から、調査項目（調査管理番号）ごとに業務受注者用のアカウントを発行する。

		アカウント種類	発行数
河川管理者等向け	a	事務所(河川水辺の国勢調査の発注担当機関)アカウント権限	事務所ごとに1アカウント (グループメールアドレスをアカウントとして登録可)
	b	地方整備局等(北海道開発局、沖縄総合事務局、水資源機構、都道府県も含む)アカウント権限	地方整備局等ごとに1アカウント (グループメールアドレスをアカウントとして登録可)
	c	国土交通本省アカウント権限	担当者ごとに1アカウント (グループメールアドレスをアカウントとして登録可)
	d	システム管理者用アカウント権限	担当者ごとに1アカウント (グループメールアドレスをアカウントとして登録可)

## 1.3 アカウントの有効期間とアカウントの廃止

(河川管理者等向け 操作説明会資料 資料3 p4 ページと関連)

- ✓ 河川管理者等向けのアカウントは、メールアドレスまたは所属に変更が無い限り、有効期限はない。
- ✓ アカウントが廃止される条件は以下の通り。
  - ・メールアドレスが削除された場合
  - ・ログイン ID に二つ目のメールアドレスが登録された場合、一つ目のアカウント情報は削除される。

		アカウント種類	アカウント期限
河川管理者等向け	a	事務所(河川水辺の国勢調査の発注担当機関)アカウント権限	期限なし ※メールアドレス変更の場合は新しいメールアドレスの申請が必要。所属の変更がある場合は、後任の担当者が申請するときに前任の担当者情報も知らせること。
	b	地方整備局等(北海道開発局、沖縄総合事務局、水資源機構、都道府県も含む)アカウント権限	
	c	国土交通本省アカウント権限	
	d	システム管理者用アカウント権限	

## 河川環境 Web 河川管理者公開システムのアカウントの考え方(案)

### 1.4 システム、アカウント等に関する Q&A

(河川管理者等向け・業務受注者向け共通)

	Q	A
1	一括発行以降のアカウント申請方法。	✓ 引き続き申請フォームにて申請をお願いします。
2	河川管理者等に人事異動があった場合の引継ぎ方法。【業務受注者には影響なし】	✓ 新たに着任した担当者から、前任の担当者の情報を添えたうえで、アカウントの申請をお願いします。このことにより、業務受注者向けの入出力システムのアカウント発行や事務所データの確認を行うことができます。
3	令和7年度業務について、業務工期が令和8年4月以降の業務の扱い。	✓ 平成28年マニュアルに基づく調査は全て「令和7年度版システム」で入力してください。 ✓ 令和7年度版システムは、令和9年3月までの運用を予定しています(検討中)。
4	1つの調査項目が令和6年度と令和7年度に2つの業務に分かれている場合の扱い。 ※平成28年マニュアルに基づく調査	✓ 令和7年度業務において、令和6年度と令和7年度の2つの業務を合わせたデータを「令和7年度版システム」で入力してください。
5	1つの調査項目が令和7年度と令和8年度に2つの業務に分かれている場合の扱い。 ※平成28年マニュアルに基づく調査	✓ 令和7年度業務では「令和7年度版システム」を用いて業務で実施した範囲で入力してください。 ✓ 発注者は承認まで実施後、「次年度継続」申請を行ってください。(検討中) ✓ 令和8年度業務では「令和7年度版システム」を用いて、令和7年度に入力・承認済みのデータを読み込み、追加入力してください。(検討中) ✓ なお、この場合の令和8年度調査は平成28年マニュアルに基づいて実施してください。
6	一つの事務所で河川とダムの両方を管理しており、担当課が異なる場合、アカウントの数はどうなるのか？	✓ 河川とダムで発注担当が異なる場合は、各担当課からアカウントの申請を行ってください。

### ■河川管理者等のログインID発行のための申請フォームURL

- ・河川環境Web河川管理者公開システムにログインするための、ログインID発行の申請フォームURLは以下のとおり。
- ・業務等を発注する「事務所」ユーザと、各事務所の進捗状況の確認を行う「地整、都道府県等」ユーザで申請フォームが異なる。
- ・申請後、所定の期日までに、河川管理者等向けのログインIDがメールにて配信。

#### 【事務所用申請フォーム】

[https://redbaccountapl.z11.web.core.windows.net/jimushoyo\\_survey.html](https://redbaccountapl.z11.web.core.windows.net/jimushoyo_survey.html)

#### 【地整、都道府県用申請フォーム】

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScXGS8mq5uiMPc6ptyiYWdk2sJEQjXLdrUk2TBtSzOshBMFVg/viewform?usp=dialog>

※上記申請フォームにアクセスできない場合、それぞれの地整、都道府県の情報システム担当部課にご相談をお願いします。  
解決しない場合は、P. 5の問合せ窓口までお問い合わせください。

#### 【ログインIDの配信元】

##### ・配信元：

令和7年度河川環境情報基盤構築・活用検討業務 リバーフロント研究所・水源地環境センター・パシフィックコンサルティング設計共同体（発注者：九州地方整備局河川部河川環境課）

##### ・メールアドレス：「@tk.pacific.co.jp」のドメインからメールが配信

#### ■補足事項：河川管理者等のユーザ種類について

「事務所」ユーザおよび「地整、都道府県等」ユーザに該当する管理者は以下のとおり。

##### ●「事務所」ユーザ

※以下に該当しなくても、業務発注を担当する機関は全てこのユーザ種類となる

- ・北海道開発局 各河川、ダム事務所
- ・各地方整備局 各河川、ダム事務所
- ・沖縄総合事務局 各ダム事務所
- ・各都道府県 土木事務所（河川環境担当課）
- ・各都道府県 ダム事務所
- ・水資源機構 管理事務所（ダム環境担当課）

##### ●「地方整備局、都道府県等」ユーザ

- ・北海道開発局（河川環境担当課）
- ・各地方整備局（河川環境担当課）
- ・沖縄総合事務局 河川課
- ・都道府県（河川環境担当課）
- ・水資源機構本社、および各支社

### ■河川環境Web河川管理者公開システムのURL（p. 5で示す情報周知サイトにも掲載予定）

- ・河川環境Web河川管理者公開システムにアクセスするためのURLは以下のとおり。

【河川版】 [https://management.REDB.smart-river.mlit.go.jp/it\\_kasen\\_kankyo](https://management.REDB.smart-river.mlit.go.jp/it_kasen_kankyo)

【ダム湖版】 [https://management.REDB.smart-river.mlit.go.jp/it\\_dam\\_kankyo](https://management.REDB.smart-river.mlit.go.jp/it_dam_kankyo)